

講習の名称	【選択必修】学校の内外における連携協力についての理解
講習の概要	学校の内外における連携協力の必要性について、実際に学校現場で起こっている保護者対応や危機管理についての具体的事例をもとにして考察を加え、配慮事項や組織的な対応策について理解し、実務の力を付けていく。
担当講師	中井 義時（大学院教育実践研究科担当准教授） 青柳 敦子（大学院教育実践研究科担当准教授） 高野 浩男（大学院教育実践研究科担当准教授） 山内 隆之（米沢市立関小学校校長）
講習開設日	平成 30 年 12 月 27 日
時間数	9:30～16:50（6 時間）
開催地	山形県山形市
会場・教室	基盤教育 1 号館 2 階 121 教室（建物 No. A 1）
主な対象学校種	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校
主な受講対象者 （免許職種、教科等）	特定しない
受講予定人数	62 人
受講者への連絡事項 （持ち物等）	下記（1）（2）の内容を午前午後に分け実施。 （1）保護者との連携に関わる組織的対応の必要性 （2）学校における危機管理上の課題 （持ち物は、①筆記具、②ノート）
評価基準	①全時間出席、②レポートの得点が 60 点以上であること
評価の観点	（1）講習内容を理解した「保護者対応」の提案の重要性が理解され、相談や苦情に対しても円滑な解決を図ることができるか。 （2）学校における様々な危機管理を予測し防止策を具体的に提案できるか、また発災時に組織的に対応できるか。
その他特記事項	なし